



# エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成 27 年 11 月 1 日（第 60 号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

ふるさと自然体験ハイキング

## 宇治田原の水の恵み～天武天皇伝承

平成27年11月28日（土）

午前8時30分～午後2時30分（予定）

役場南バス停～龍王の滝～御栗栖神社  
～田原小校門～郷ノ口バス停

集合：役場南バス停

解散：郷ノ口バス停

定員：50名

町内外どちらからも参加可能（小学生以下は保護者同伴）

参加料：無料

参加ご希望の方は下記までお申込みください

宇治田原町役場建設・環境課

TEL:0774-88-6639 FAX:0774-88-3231



・参加申し込みは締切日（11月19日）までに電話またはFAXをお願いします。締切日までに定員に達した時点で締め切ります。

- ・お申し込み時に参加者の氏名、住所、電話番号をお伝えください。
- ・電話でのお申込みは平日の午前8時30分～午後5時15分に受け付けます。
- ・主催者から飲食の提供はありませんので、昼食等は各自でご用意ください。
- ・前日時点で当日の天気予報が降水確率60%以上の場合は中止とします。
- ・ハイキングは宇治田原町文化協会との共催です。



## 運営委でリサイクルセンター長谷山へ行きました

10月13日（火）、エコパートナーシップの運営委員メンバーで城南衛生管理組合の「リサイクルセンター長谷山」を見学しました。

我々が分別した「プラスチック製容器包装ごみ」がどのように処理されているのかを自分の目で確かめ、出前講座等で正しい情報をお伝えする目的を持っての見学です。

次々と流れる容器包装ごみを手際よく処理されていましたが、手選別の作業も多く、分別の際少し気を付けるだけで、資源になるごみが増えることがわかりました。

資源にならないケースは次のようなものです。

- 生ごみが混入していると、資源にならないのはもちろん、作業ラインまで止める事態が生じます。
- 収集されたごみはまず機械で袋を破る作業を行いますが、小さい袋に入れたものを大きな袋に入れる二重袋になっていると、中の小さい袋が破れないことがあり、作業に手間がかかり、資源化されないこともあります。（裏面につづく）

●ライターなどの禁忌品は資源化されないだけでなく、火災が発生する危険性もあります。実際、見学  
中にも煙が発生して非常ベルが鳴るという事態となりました。

●通常の収集に出されたら資源化されるペットボトルも、プラマーク容器包装に混入すると不適物とし  
て資源化されません。

●マヨネーズやケチャップなどの容器も資源化が可能ですが、中身が残っていると不適物となります。

見学中も、枕？が混入していたために大量の羽毛が散らばり、ラインを止めて清掃されていました。

プラスチック製品は非常に便利なものですが、ごみとして燃やせば地球温暖化の原因となり、埋め立てる  
と処分場が必要になります。資源化する事は処分するごみの量を減らすことになり、正しく分別する必要性  
を痛感して帰路につきました。

## 運営委員会がんばってます

「エコパートナーシップうじたわら」設立の目的は、宇治田原の環境保全計画の実動部隊として、環境に  
関する情報の提供やイベントを通じて、住民の皆さんに環境保全について理解してもらうことにあります。

運営委員として、環境における知識を取得するため、2か月に1回運営委員会を開催し、環境情報の共有  
等を図っています。

以下は去る9月10日(木)に開催した、運営委員会の内容です。

●最初に、プラマーク容器包装の処理工場(リサイクルセンター長谷山)を運営委員で見学することについて  
話し合いました。なぜ分別が必要なのかを現場を見て体感し、住民の方々に様々な情報を提供するため  
です。⇒(10月13日見学実施)

●イベント会場でアンケートに加え省エネ診断(エコライフ診断)を実施することにしました。住民の方の  
エコに対する浸透度の指針にすると同時に、エコ診断をすることにより、エコ生活の必要性を認識してい  
ただくためです。⇒(10月18日の宇治田原ふるさとまつりで実施し、30名の方に協力をいただきました。)

●役場情報としては

10月からスタートする「使用済み小型家電回収」の概要報告と、「宇治田原ふるさとまつり」への運営  
委員の参加要請、さらに環境保全計画における、平成26年度の実績値報告がありました。

●各部会からの報告において

「自然・生活環境部会」からは、7月から8月にかけて実施された環境学習等の報告と、11月28日実施  
予定の自然体験ハイキングのコースとして龍王の滝から大正池方面を検討したものの、下見の結果一般の  
方が安全に歩くことはむずかしく、コースを変更したことが報告されました。

●「循環型社会・地球温暖化防止部会」からは、夏のエコクッキング開催は見送り、レシピ集を作成した  
ことが報告されました。⇒(町ホームページに掲載済み。)

●「広報部会」から次回会報誌は10月末に発行予定。「自然体験ハイキング」開催告知と、次回のエコク  
ッキング開催告知などが主な記事になるとの報告がありました。

●最後に恒例の一人一言で締めくくりました。

「環境問題は幅広く、なかなか答えが出ないもの。地道に歩みたい」の言葉に象徴されるように、すぐ  
に花は開かなくても、地道な努力で頑張ろうとの思いで一致できた気がします。また団体推薦で初めて顔  
を出された運営委員さんからも、勉強して頑張りたいとの力強い一言がありました。

### エコパートナーシップうじたわら賛助会員

宇治田原工業団地管理組合、協栄開発株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、  
JA京都やましろ宇治田原町支店、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、  
米田造園土木株式会社、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、株式会社堀口新聞販売所、  
濱田プレス工藝株式会社、宇治田原町 (敬称略・順不同)

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町建設・環境課内)

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: [junkan@town.ujitawara.kyoto.jp](mailto:junkan@town.ujitawara.kyoto.jp)

会報のバックナンバーをご覧くださいませ

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原